

今日の仙台は3cm程の雪が積りました。被災地の瓦礫と田畑をかくすように・・・この度の震災に際しましては全国の皆様からお見舞いと励ましのお言葉を頂戴いたしまして厚く御礼申し上げます。

お陰様で私や家族そして私の知る限りのバドミントン関係者に犠牲者はありませんでした。激しい地震と津波で家屋や家財に被害がありましたが命はとりとめました。

被災地の小学生バドミントン選手は今回の震災により命、家族、食料、電気・水道・ガスのありがたさを体験しました。そしてバドミントンのできる環境について理解し、シャトルを打ち合える幸せな気持ちを今後に生かしていただきたいと思います。

まだまだバドミントンをできる状態にありませんが、復旧したら声を出して、シャトルを打ち、コートを走りまわって笑って、泣いてください。

日本小学生バドミントン連盟

副会長 湯村治夫